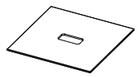
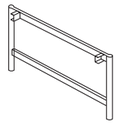
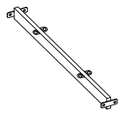
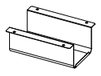
GARAGE　g Nest フリースタイルデスク 組立説明書（W1200・2400タイプ）

組立方法（必ず二人以上で作業してください。）

- 組立及び設置は、必ず組立説明書（本紙）にもとづいて行ってください。誤った組立はけがの原因となります。
- 組立前に、組立部材・組立部品・付属品をご確認ください。
- 作業は製品の表面をキズづけないよう、梱包箱を利用して行うか、毛布等のあてものを敷いて行ってください。

■組立部材・部品一覧

	①天板	②配線フタ	③連結フレーム W1200	④連結フレーム W2400	⑤エンド脚	⑥ブレース	⑦中間連結フレーム	⑧中間連結プレート
部材								
W1200	1	1	2	ー	2	2	ー	ー
W2400	2	2	ー	2	2	2	1	2

	⑨配線受	⑩ボルト	⑪ボルト ナット付	⑫ボルト	⑬ワッシャー	⑭スプリング ワッシャー	⑮ボルト	⑰木脚	⑱アジャスター
部品		 M6×20	 M6×40	 M6×65	 M6 用	 M6 用	※配線受用  M6×12	 ⑤エンド脚用	 ⑤エンド脚用
W1200	1	20	ー	12	32	20	4	4	4
W2400	2	32	4	24	64	20	8	4	4

付属品


六角レンチ


スパナ

1. 本体（脚・フレーム）の組立

部品

【共通】


⑩ボルトM6×20
12 個


⑬ワッシャー
12 個

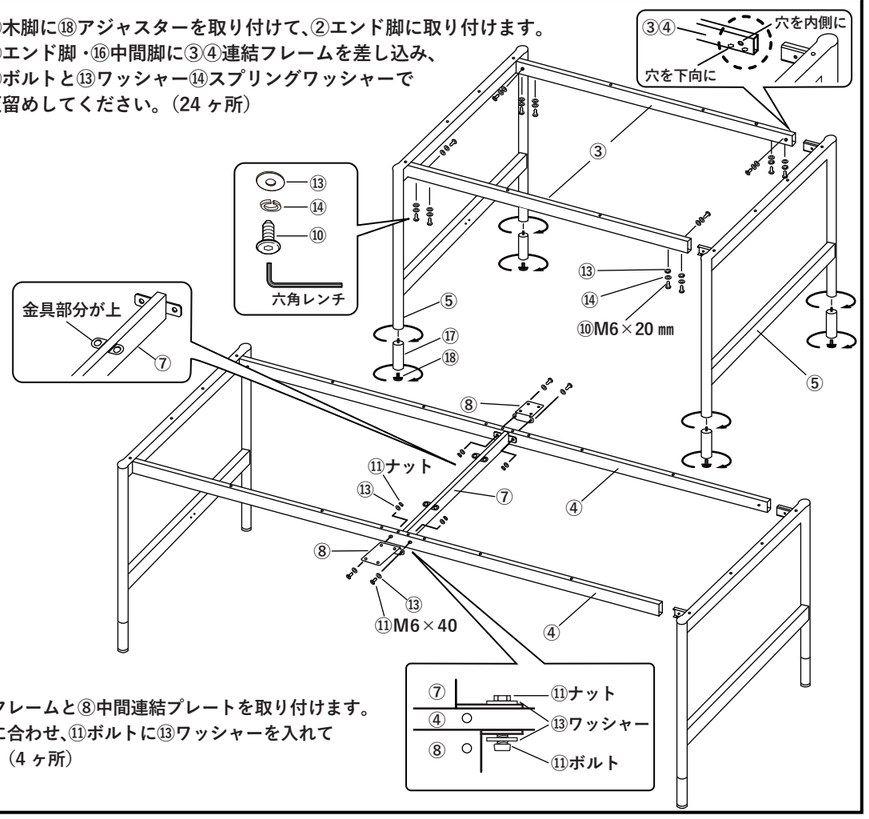

⑫スプリングワッシャー
12 個

【W2400 のみ】


⑪ボルトM6×40
4 個


⑬ワッシャー
8 個

❶ ⑰木脚に⑱アジャスターを取り付けて、②エンド脚に取り付けます。
②エンド脚・⑯中間脚に③④連結フレームを差し込み、
⑩ボルトと⑬ワッシャー⑭スプリングワッシャーで
仮留めしてください。（24 ヶ所）



❷ 【W2400 のみ】
④連結フレームに⑦中間連結フレームと⑧中間連結プレートを取り付けます。
④連結フレーム中央の穴位置に合わせ、⑪ボルトに⑬ワッシャーを入れて
ナットで仮留めしてください。（4 ヶ所）

2. 天板の取付

❶ 【共通】①天板を本体の上に載せて、③④連結フレームと⑤エンド脚の穴位置に合わせ、⑫ボルト（M6－65 ㎜）に⑬ワッシャーを入れて
仮留めしてください。（W1200：12 カ所　W2400：24 カ所）
【W2400 のみ】⑦中間フレームは⑩ボルト（M6－20 ㎜）に⑬ワッシャーを入れて仮留めしてください。（4 カ所）
【W2400 のみ】⑧中間連結プレートは⑩ボルト（M6－20 ㎜）に⑬ワッシャーを入れて仮留めしてください。（8 カ所）

部品

【W1200】


⑩ボルトM6×20
8 個

⑫ボルトM6×65
12 個

⑬ワッシャー
20 個


⑭スプリングワッシャー
8 個

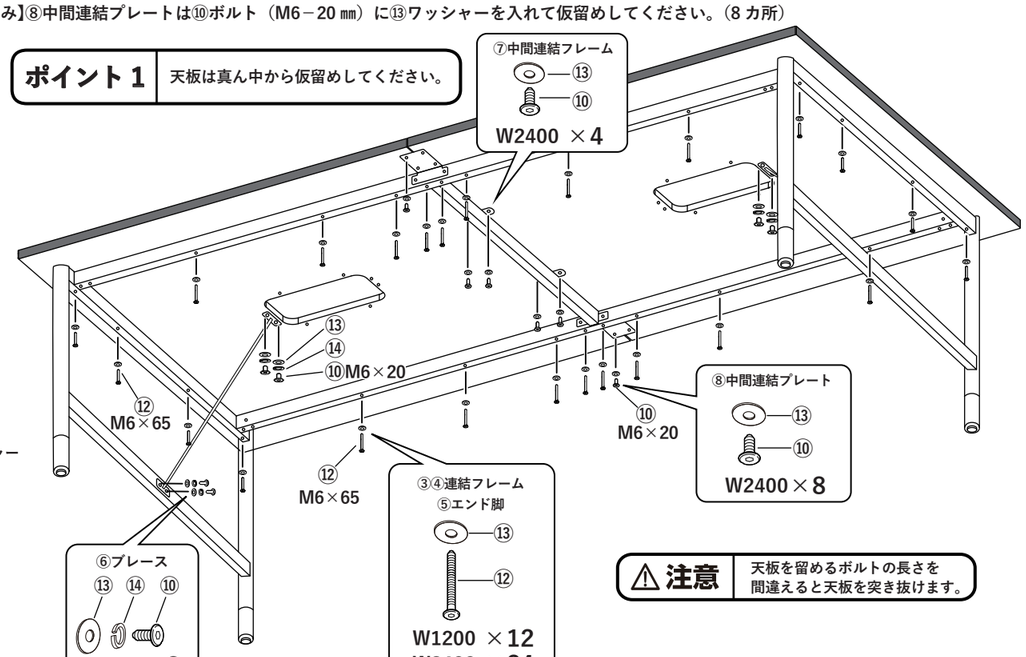
【W2400】


⑩ボルトM6×20
20 個


⑫ボルトM6×65
24 個

⑬ワッシャー
44 個

⑭スプリングワッシャー
8 個



ポイント 1　天板は真ん中から仮留めしてください。

⚠注意　天板を留めるボルトの長さを間違えると天板を突き抜けます。

❷ 【共通】⑥ブレースを⑤エンド脚と天板の穴位置に合わせて
⑩ボルト（M6×20）に⑬ワッシャー⑭スプリングワッシャーを入れて仮留めしてください。（8 ヶ所）

ポイント 2　天板がズレないように突き合わせて、仮留めしたボルトをすべて本締めしてください。

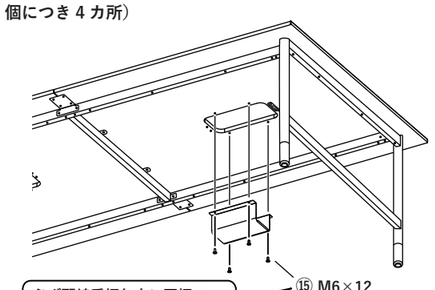
ポイント 3　天板に段差ができる場合、⑦中間連結フレームおよび、⑧中間連結プレートを固定している⑩ボルトをゆるめ、段差が出ない位置で固定してください。

3. 配線受の取付

❶ ⑨配線受を天板配線口裏の穴に合わせて⑮ボルトで固定してください。
（配線受 1 個につき 4 カ所）

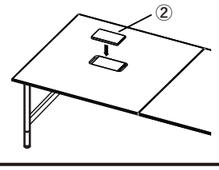
部品

⑮ボルト
M6×12
4 個



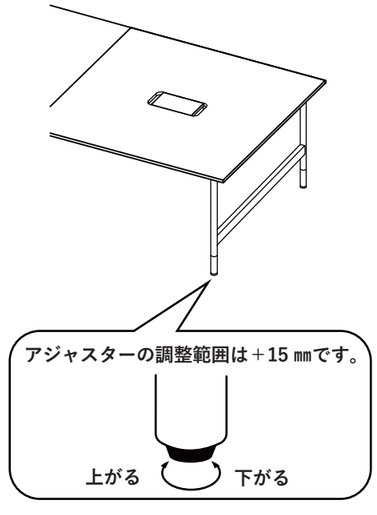
⚠注意　天板を留めるボルトの長さを間違えると天板を突き抜けます。

❷ ②配線フタを天板上から載せてください。



4. アジャスターの調整

❶ テーブル設置後、ガタツキを確認してください。
ガタツキがある場合は、脚部のアジャスターを
回して、水平を保つようにしてください。

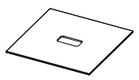
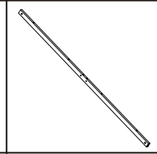
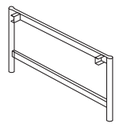
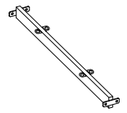


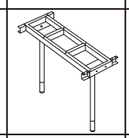
GARAGE　g Nest フリースタイルデスク 組立説明書（W3600・4800タイプ）

組立方法（必ず二人以上で作業してください。）

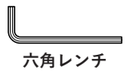
- 組立及び設置は、必ず組立説明書（本紙）にもとづいて行ってください。誤った組立はけがの原因となります。
- 組立前に、組立部材・組立部品・付属品をご確認ください。
- 作業は製品の表面をキズづけないよう、梱包箱を利用して行うか、毛布等のあてものを敷いて行ってください。

■組立部材・部品一覧

	①天板	②配線フタ	③連結フレーム W1200	④連結フレーム W2400	⑤エンド脚	⑥ブレース	⑦中間連結フレーム	⑧中間連結プレート
部材								
W3600	3	3	2	2	2	2	1	4
W4800	4	4	ー	4	2	2	2	6

	⑨配線受	⑩ボルト	⑪ボルト ナット付	⑫ボルト	⑬ワッシャー	⑭スプリング ワッシャー	⑮ボルト	⑯中間脚	⑰木脚	⑱アジャスター
部材 部品		 M6×20	 M6×40	 M6×65	 M6 用	M6 用	※配線受用  M6×12		 ⑤エンド脚用	⑤エンド脚用
W3600	3	52	8	44	112	20	12	1	4	4
W4800	4	64	12	56	144	32	16	1	4	4

付属品


六角レンチ


スパナ

1. 本体（脚・フレーム）の組立

部品

【W3600】

⑩ボルトM6×20 24個

⑪ボルトM6×40 8個

⑬ワッシャー 40個

⑭スプリングワッシャー 24個

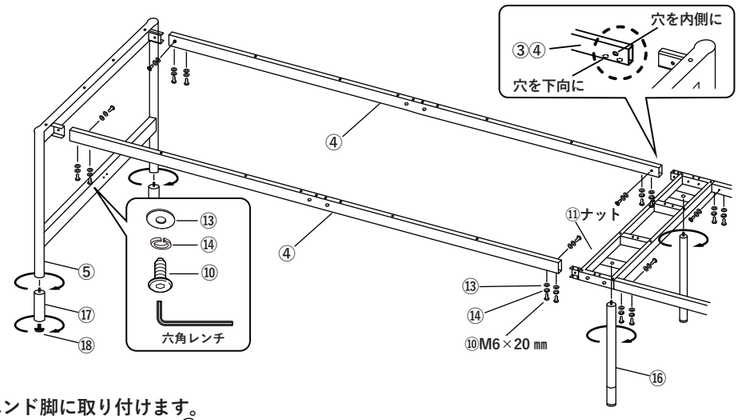
【W4800】

⑩ボルトM6×20 24個

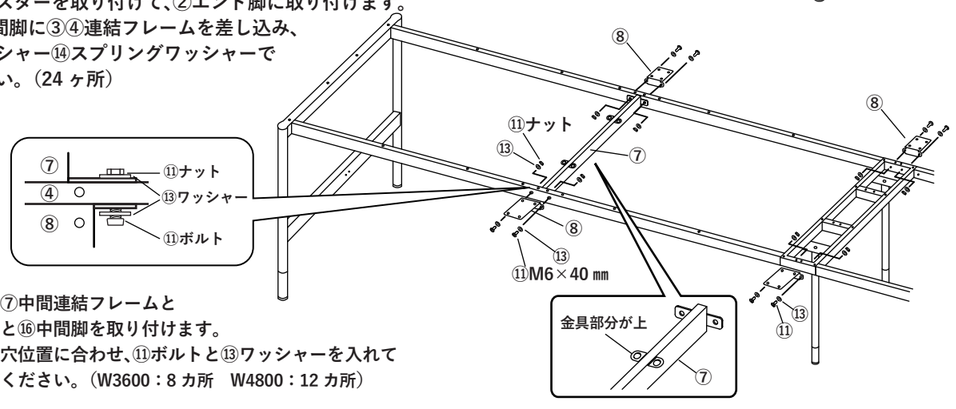
⑪ボルトM6×40 12個

⑬ワッシャー 48個

⑭スプリングワッシャー 24個



❶ ⑰木脚に⑱アジャスターを取り付けて、②エンド脚に取り付けます。
②エンド脚・⑯中間脚に③④連結フレームを差し込み、
⑩ボルトと⑬ワッシャー⑭スプリングワッシャーで
仮留めしてください。（24 ヶ所）



❷ ③④連結フレームに⑦中間連結フレームと
⑧中間連結プレートと⑯中間脚を取り付けます。
③④連結フレームの穴位置に合わせ、⑪ボルトと⑬ワッシャーを入れて
ナットで仮留めしてください。（W3600：8 カ所　W4800：12 カ所）

2. 天板の取付

❶ ①天板を本体の上に載せて、③④連結フレームと⑤エンド脚の穴位置に合わせ、⑫ボルト（M6－65 ㎜）に⑬ワッシャーを入れて仮留めしてください。（W3600：28 カ所　W4800：40 カ所）
⑦中間フレームは⑩ボルト（M6－20 ㎜）に⑬ワッシャーを入れて仮留めしてください。（W3600：4 カ所　W4800：8 カ所）
⑧中間連結プレートは⑩ボルト（M6－20 ㎜）に⑬ワッシャーを入れて仮留めしてください。（W3600：16 カ所　W4800：24 カ所）
⑯中間脚は⑫ボルト（M6－65 ㎜）に⑬ワッシャーを入れて仮留めしてください。（16 カ所）

部品

【W3600】

⑩ボルトM6×20 28個

⑫ボルトM6×65 44個

⑬ワッシャー 72個

⑭スプリングワッシャー 8個

【W4800】

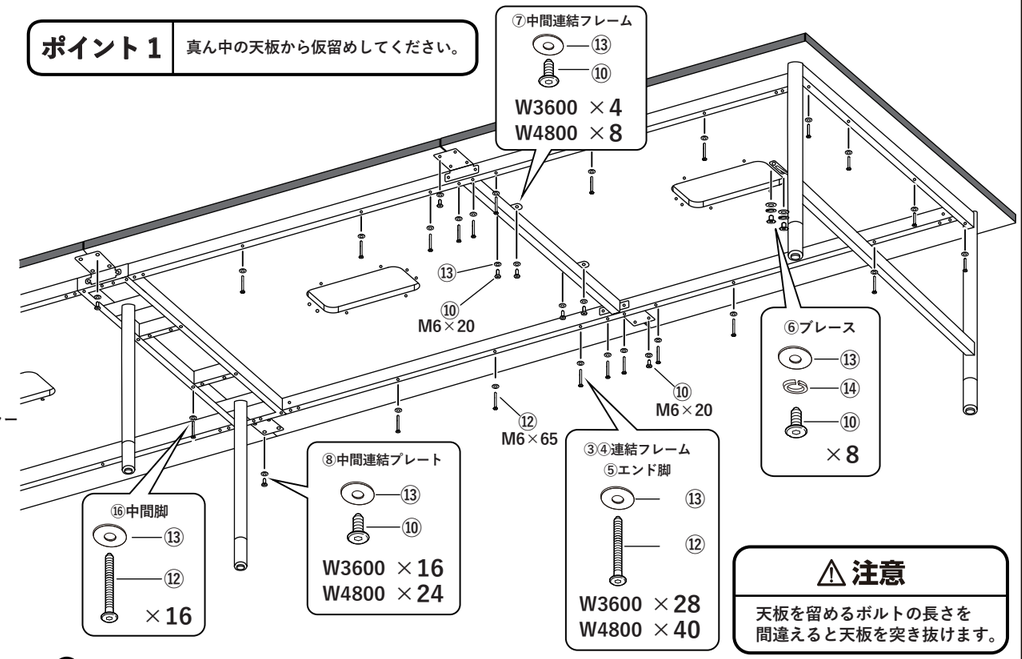
⑩ボルトM6×20 40個

⑫ボルトM6×65 56個

⑬ワッシャー 96個

⑭スプリングワッシャー 8個

ポイント1　真ん中の天板から仮留めしてください。



⚠注意
天板を留めるボルトの長さを
間違えると天板を突き抜けます。

❷ ⑥ブレースを⑤エンド脚と天板の穴位置に合わせて
⑩ボルト（M6×20）に⑬ワッシャー⑭スプリングワッシャーを入れて仮留めしてください。（8 ヶ所）

ポイント2　天板がズレないように突き合わせて、仮留めしたボルトをすべて本締めしてください。

ポイント3　天板に段差ができる場合、⑦中間連結フレームおよび、⑧中間連結プレートを固定している⑩ボルトをゆるめ、段差が出ない位置で固定してください。

3. 配線受の取付

❶ ⑨配線受を天板配線口裏の穴に合わせて⑮ボルトで固定してください。
（配線受 1 個につき 4 カ所）

部品


⑮ボルト M6×12 4個

必ず配線受梱包内に同梱の⑮ボルトを使用してください。

⚠注意　天板を留めるボルトの長さを間違えると天板を突き抜けます。

❷ ②配線フタを天板上から載せてください。

4. アジャスターの調整

❶ テーブル設置後、ガタツキを確認してください。
ガタツキがある場合は、脚部のアジャスターを
回して、水平を保つようにしてください。

GARAGE　g Nest フリースタイルデスク 取扱説明書

この度はお買い上げ頂きましてありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をお読みになり正しくお使いください。お読みいただいた後も、大切に保管してください。

1. 安全のために必ずお守りください

⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重症を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「障害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

⚠ 警告

- 廃棄する時は購入店にご相談下さい。焼却すると有毒ガスが発生することがあります。
- 積み重ねて保管しないでください。倒れてけがをすることがあります。

⚠ 注意

- お子様が近くにいる環境では組み立てないでください。小さな部品を飲み込んだり、部品でけがをすることがあります。
- 添付の組立説明書にもとづいて、組立・設置をしてください。誤った組立・設置をすると、破損やけがをすることがあります。
- 火や熱器具のそばに近づけて設置しないでください。火災になることがあります。
- 異常を発見した場合は直ちに購入店へお申し付けください。そのまま使用しますと壊れてけがをすることがあります。
- 乱暴な扱いや用途以外で使わないでください。破損や故障、けがをすることがあります。
- 天板の固定は確実に行なってください。天板がはずれてけがをすることがあります。
- 移動する時は２人以上で持ち上げて行なってください。引きずると脚部が破損したり床面を傷つけることがあります。
- 天板の外周部に片寄って重いものを載せないでください。倒れてきてけがをすることがあります。
- 天板の上に腰掛けたり乗ったりしないでください。転倒したり壊れてけがをすることがあります。
- 下表に記す箇所には質量以上の物を載せないでください。壊れてけがをすることがあります。
- 設置の際は、本体の水平を保つようにアジャスターで調整してください。傾いた状態で設置すると、本体が倒れたり、のせているものが落下したりして、けがをすることがあります。
- アジャスター調整は対象物を支えて行ってください。倒れたり、手足をはさまれてけがをすることがあります。
- 床に傾斜や段差のある不安定な場所で使用しないでください。倒れてけがをすることがあります。
- 木製天板には直接金属や陶器などの硬いものを載せたり、ボールペン等、先の硬いもので筆記しないでください。傷がつくことがあります。
- 木製天板には直接熱いカップ等を置かないでください。表面に跡がつくことがあります。
- この製品は屋内用です。屋外で使用しないでください。故障や破損によりけがをすることがあります。
- 子供が遊具代わりにしないようにしてください。けがをすることがあります。
- 脱着可能な部品を乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤飲の可能性があります。
- 本機を第三者に譲渡または貸与するときは、取扱方法を十分に説明してください。
- 使用中ボルトやねじのゆるみを発見した場合は必ず増し締めを行なってください。そのまま使用しますと壊れてけがをすることがあります。
- 完全に組み上がっていない状態で使用しないでください。破損や倒れてけがをすることがあります。
- 分解や改造をしないでください。破損やけがをすることがあります。

2. 健やかな空気質の確保のために換気励行のお願い

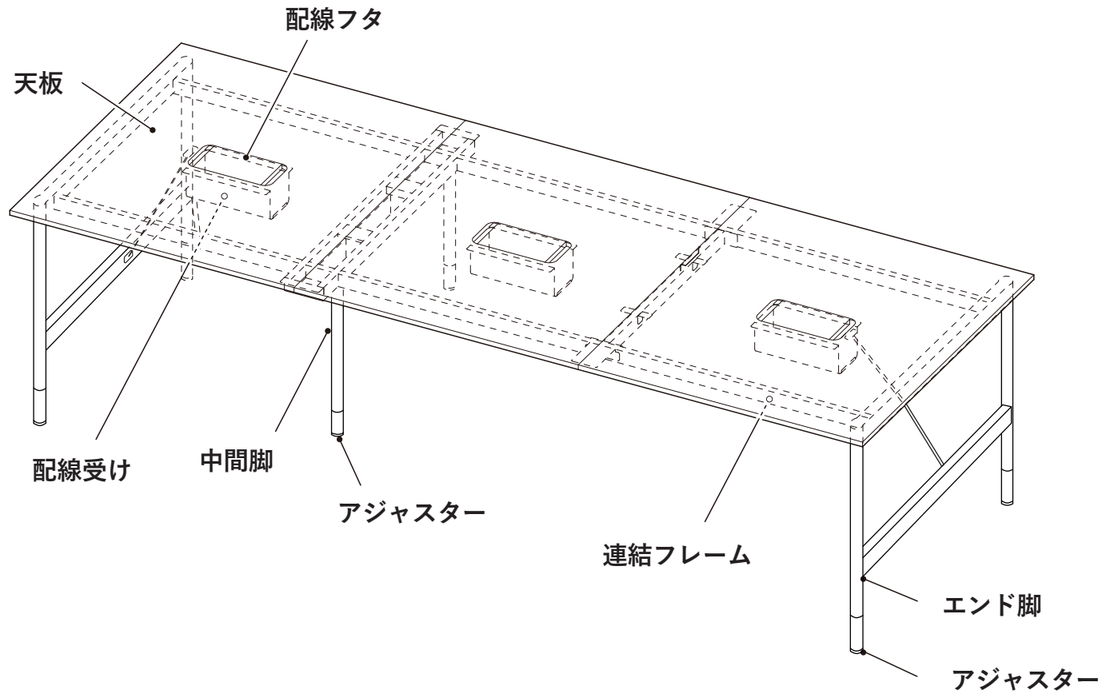
1. 製品購入時の注意事項
   購入当初は、化学物質の発散が多いことがあります。暫くの間は、換気や通気を十分に行うよう心掛けてください。
   室内の換気が十分に行われないと室内化学物質濃度が高まり、健康に影響を及ぼすことがあります。

2. 湿度が湿度の変化による複数の防止
   室内が著しく高温多湿になる場合（温度 28℃、相対湿度 50%超が目安）には、窓を閉め切らないようにするか、強制換気を行ってください。室内化学物質濃度が高まり、健康に影響を及ぼすことがあります。

3. お手入れ方法

1. 汚れを落とす場合は、から拭きするか固く絞ったぬれぞうきんなどで拭いてください。
2. 汚れのひどい場合には薄めた中性洗剤溶液で拭いてから固く絞ったぬれぞうきんなどで拭いてください。
   ご注意：シンナー・アルコール等の使用は避けてください。変色・変形や塗装が剥がれる場合があります。

4. 各部の名称



5. 主な材質

共通部品	
天板	メラミン樹脂化粧板、パーティクルボード、PVC 樹脂（木口材）
エンド脚	鋼管塗装仕上げ、鋼板塗装仕上げ、天然木（ウレタン樹脂塗装）、PE 樹脂（アジャスター）
連結フレーム	鋼管塗装仕上げ、鋼板塗装仕上げ
中間連結フレーム	鋼管塗装仕上げ、鋼板塗装仕上げ
中間脚	鋼管塗装仕上げ、鋼板塗装仕上げ、天然木（ウレタン樹脂塗装）、PE 樹脂（アジャスター）
配線受け	鋼板塗装仕上げ

6. ご使用上の注意

1. 直射日光・暖房器具などの高熱を避けてください。変色、変形することがあります。
2. 湿気の多いところには置かないでください。腐食、変形することがあります。
3. 天板表面の色調・仕様の関係で、汚れや皮脂等が目立つことがあります。その場合は「3. お手入れ方法」に従って、汚れを拭き取ってください。
4. 天板や物材に固いものを落としたり、ぶつけたりしないでください。天板面や縁材を破損することがあります。
5. 屋外や水のかかるところでは使用しないでください。サビや破損を引き起こす原因となります。
6. 本体を壁などの固いものにぶつけないようにしてください。本体や壁面などが破損、変形することがあります。
7. 水や飲料等をこぼした場合は、速やかに拭き取ってください。変色・変形することがあります。
8. 天板が白色の場合、光学マウスが正常に作動しない場合があります。正常に作動しない場合はマウスパッド（別売）をご使用ください。
9. 定期的に、ネジのゆるみによるガタツキがないか点検し、ある場合は締め付けてください。
10. 畳や絨毯などの柔らかな床材で使用すると床面が変化して本体の水平が保てなくなり、本体にゆがみがでることがあります。その場合は再度、本体が水平を保つようにアジャスターで調整してください。また床面が変化しやすい場合はアジャスターの下に硬く平らな板などを敷いてから、本体が水平を保つようにアジャスターで調整してください。

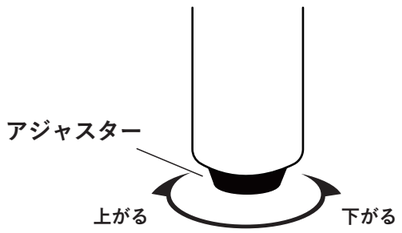
7. ご使用方法

1. アジャスターの調整

デスクの高さは脚下部のアジャスターにより調整できます。
据え付けの際は、このアジャスターにより床面との水平を
保つようお願いします。

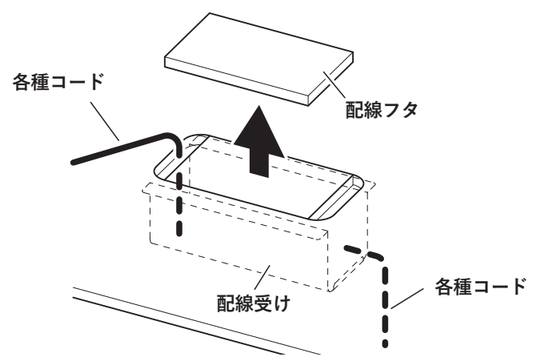
⚠ 注意

アジャスターは 15mm 以上伸ばさないでください。
破損や倒れてけがをすることがあります。



2. 配線方法

2-1. 両面タイプの場合
各種コード、アダプター等は天板上面の配線口と
天板裏面の配線受けの側面口を使って図のように
配線することができます。
電源タップ、アダプターの出し入れは中央の配線
ふたを外して行います。



品質表示

■ 外形寸法

	幅	奥行	高さ
W1200	1200mm	1200mm	720mm
W2400	2400mm	1200mm	720mm
W3600	3600mm	1200mm	720mm
W4800	4800mm	1200mm	720mm

■ 天板
合成樹脂化粧パーティクルボード（メラミン樹脂）
■ 木口材　PVC ビニル樹脂
■ 表面加工　粉体塗装
■ 取扱い上の注意
・直射日光又は暖房器具等の熱を避けてください。
・加熱した鍋、湯沸かし等を直接置かないでください。

表示者　**プラス株式会社**　☎ 0120-331-753

ガラージお客様センター
☎ **0120-331-753**

受付時間：月曜日～金曜日　10:00 ～ 12:00
13:00 ～ 17:00
（土・日・祝日・年末年始・夏期休暇時は除く）

プラス株式会社
ホームページアドレス　http://www.plus.co.jp/